

ソーシャルメディアと安心感 ーデジタル信頼構築のためにー

2022. 11. 5 日本学術会議学術フォーラム

学習院大学 遠藤薫 (学術会議連携会員)

1. ソーシャルメディアに関連した最近の動向

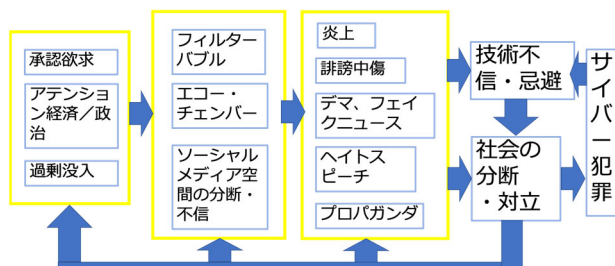
最近、プラットフォーム企業が投稿のルールを厳しくする動きが目につく。ソーシャルメディアにおいて他者を傷つける表現や、真実ではない情報が多く流れ、人びとに不安を与えて、それが健全なサイバー=フィジカル空間の発展を妨げることが危惧されるためである。ただし、ルールの厳格化は反面で「表現の自由」を阻害することにもなりかねず、価値の相克が問題視されている。

2. ソーシャルメディアの発展と現状

20 世紀後半、とくにクリントン=ゴア政権下においてインターネットの一般利用が解禁されて以来、インターネットは爆発的に普及していった。2000 年前後からは、電子掲示板やブログなど、誰にも使えるソーシャルメディアが一般化し、2010 年前後からは、Facebook や Twitter、メッセージアプリなどがひろまった。

3. 吹き出す諸問題

ソーシャルメディアは、誰もが手軽に不特定多数の人びとに情報発信することができることから、市民の力を拡大する民主主義的メディアとなり得ることが期待された。しかし、利用が進むにつれ、下図に示すような諸問題が目立つようになり、それが現実社会自体を揺るがすような、負の影響を及ぼすようになった。



4. なぜ問題が起こるのか：これまであまり着目されなかったこと

この問題については、すでに多くの議論がなされてきたが、冒頭にも述べたように、「価値の相克」というアポリアが解決を妨げている。

そこで本論では、従来あまり議論の俎上に載ってこなかった三つの側面から問題を再検討する。すなわち、①デジタルコミュニケーションと社会的孤立、②間メディア性、③デジタル技術のリープ・フロッグ性である。これらは相互に関係し合って、問題の根を深くしている。

5. デジタル信頼の構築

では、これらの問題を超克して、豊かな未来を築くための「デジタル信頼」はどのように構築できるだろうか。その方向性を示して、本報告を締めくくりたい。

【参考文献】

遠藤薫, 2000, 『電子社会論』, 実教出版

遠藤薫編, 2004, 『インターネットと〈世論〉形成』, 東京電機大学出版局

遠藤薫編, 2016, 『ソーシャルメディアと〈世論〉形成』, 東京電機大学出版局

遠藤薫編, 2018, 『ソーシャルメディアと公共性』, 東京大学出版会